

東京・お茶の水女子大学 知の市場  
東京・大岡山 知の市場  
東京・若松河田 知の市場  
(開講機関 知の市場)

有志実行委員  
奥田有香

1

## 知の市場(直轄)の特徴

### お茶の水女子大学 LWWC (増田研究室)の機能移管

1. 主眼  
高度な教養教育
2. 機能  
孵化(インキュベーション)機能
  - 1) 新規開拓
  - 2) 構造改革

2

## 2013年度の受講実績

- 新規科目としてお茶の水女子大学と放送大学文京学習センターの2つの拠点で合計2科目を開講
- 開講科目は、  
**規範科学基礎論と化学物質総合経営学基礎論**  
 →大学・大学院での講座を基に開講し、  
**知の市場の展開が新たに広がった**
- 受講者は合計13名、一科目あたりの受講者は7名

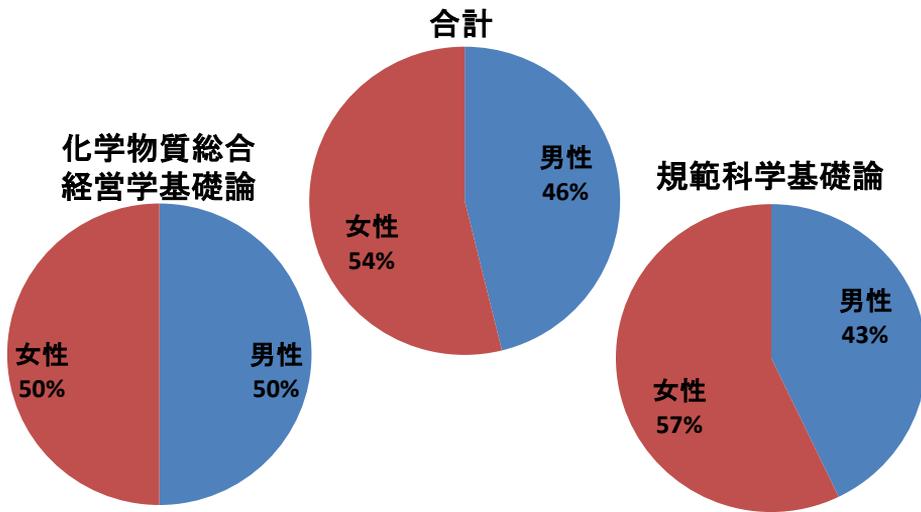
3

## 2013年度科目：新規科目

連携機関	科目番号	科目名	曜日
	副題		時間
化学生物総合管理学会 化学物質総合経営学 基礎教育研究会	CT134	<a href="#">化学物質総合経営基礎論</a>	木集中
	健康と環境リスクを巡る国際的な論議を跡づけながら経営リスクを管理しつつ付加価値の創造に繋げる道を探る		14:30-18:30
化学生物総合管理学会 化学物質総合経営学 基礎教育研究会	UT135	<a href="#">規範科学基礎論</a>	水集中
	文理融合の視点をもつ規範科学(レギュラトリー・サイエンス)を健康や環境へのリスクの評価と管理を例題に論じる		13:20-16:30

4

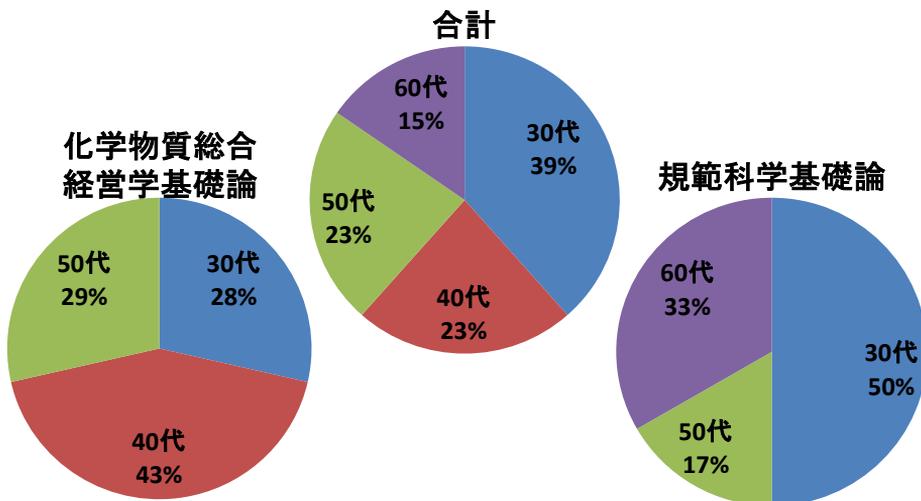
## 応募者の属性：男女比



第Ⅱ期共催講座の全体平均の男女比2対1と比べて女性比率が高い

5

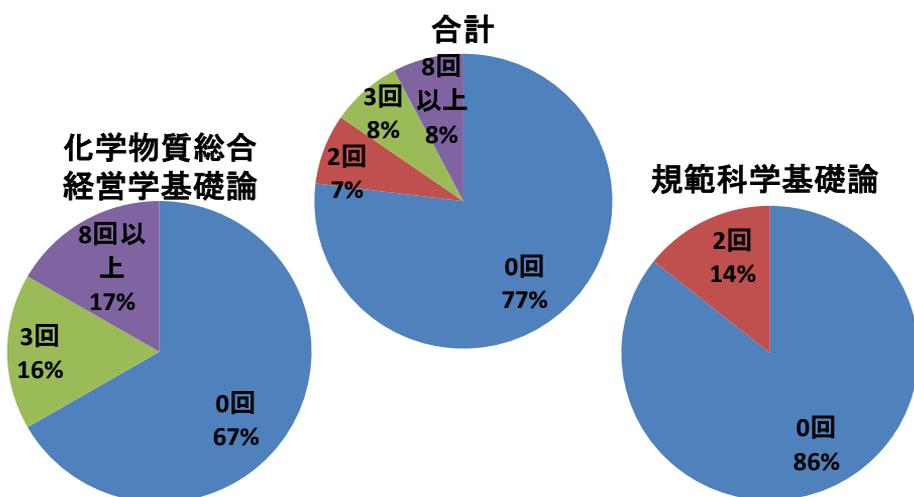
## 応募者の属性：年齢分布



第Ⅱ期共催講座の全体平均の30代の比率19%と比べて、30代の比率が高い

6

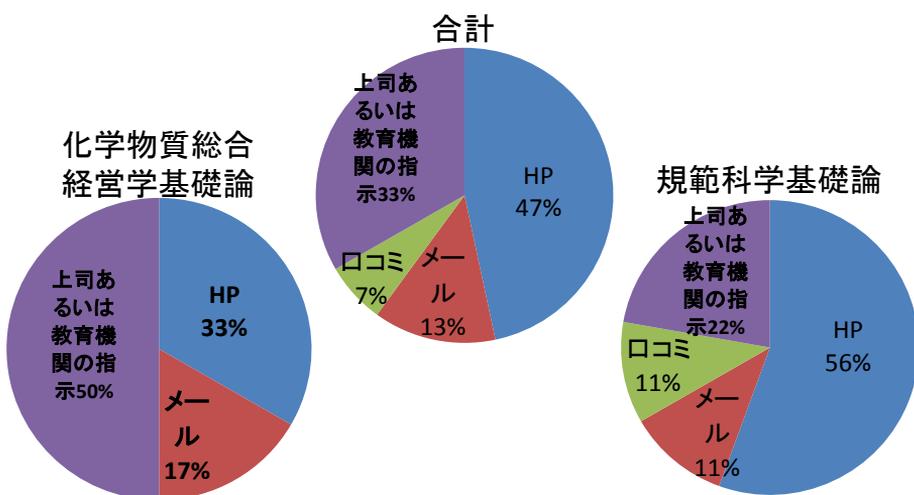
## 応募者の属性：受講回数



初回受講者が大多数を占め第Ⅱ期共催講座の全体平均と比べて、その比率が高い

7

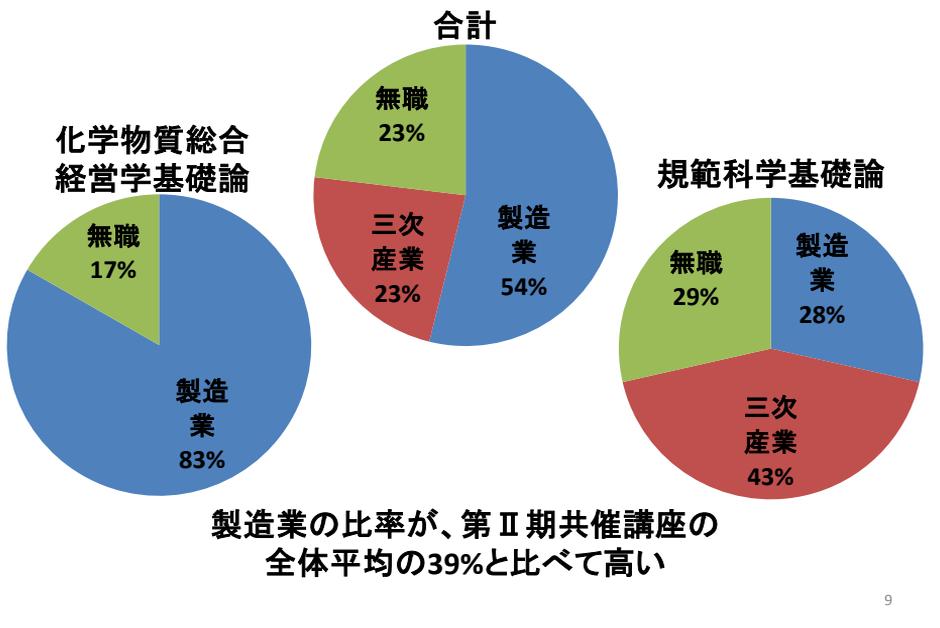
## 応募者の属性：情報源



HPについて、上司あるいは教育機関の指示が33%と多い。  
上司あるいは教育機関の指示が第Ⅱ期共催講座の全体平均と比べて大きい

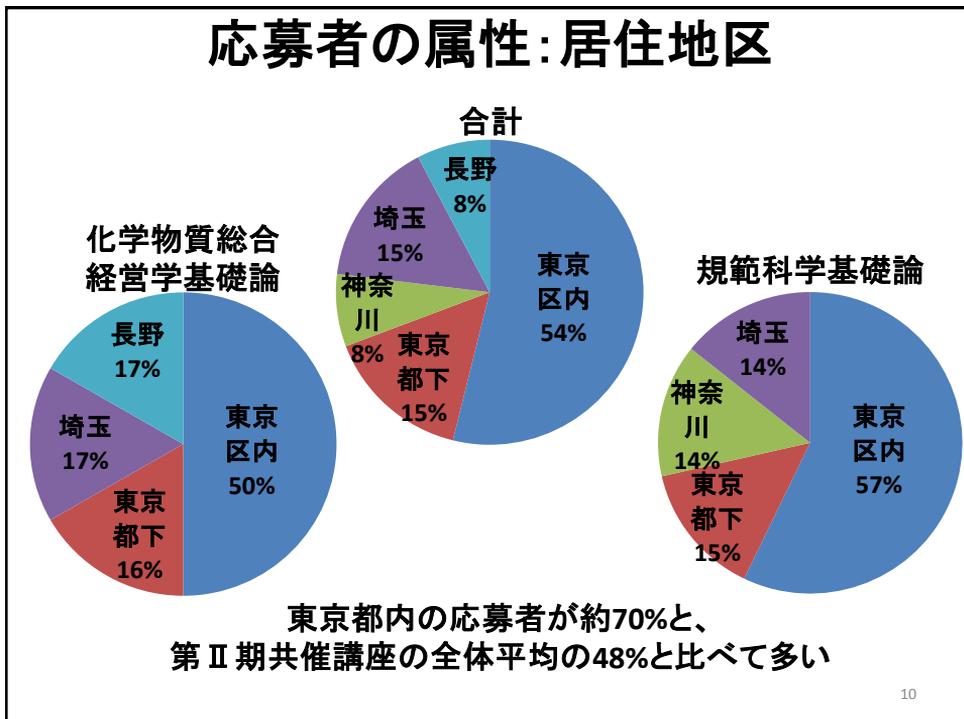
8

## 応募者の属性：業種別



9

## 応募者の属性：居住地区



10

## 東京・お茶の水女子大学

連携機関	科目番号	科目名	曜日
	副題		時間
化学生物総合 管理学会 化学物質総合経営学 基礎教育研究会	継続UT134	<a href="#">化学物質総合経営学基礎論</a>	水集中
	健康・環境リスクをめぐる国際的な論議を跡付けながら 化学物質管理を付加価値の創造に繋げる道を探る		13:20-16:30
社会技術革新 学会社会技術 革新学基礎教 育研究会	新規UT516	<a href="#">社会技術革新学基礎論</a>	水集中
	社会変革と技術革新の歴史を検証し付加価値を生み 出すイノベーションの神髄を探る		13:20-16:30
化学生物総合管 理学会 化学物質総合経営学 基礎教育研究会	継続UT135	<a href="#">規範科学基礎論</a>	水集中
	文理融合の視点をもつ規範科学(レギュラトリーサイエンス)を 健康や環境へのリスクの評価と管理を例題に論じる		13:20-16:30

お茶の水女子大学・大学院で開講される科目を活用

11

## 東京・大岡山と東京・若松河田

拠点	連携機関	科目番号	科目名	曜日
		副題		時間
大岡山	社会技術革新学会 石油サウジアラビア 教育研究会	新規UE535	<a href="#">資源・エネルギー・安全基礎論</a>	金集中
		技術革新と社会変革に深く係る資源・エネル ギーとリスク管理のための社会的規範を巡る 世界の動向を語る		13:20- 18:10
若松河田	化学生物総合管理学会 化学物質総合経営学 基礎教育研究会	新規UE134	<a href="#">化学物質総合経営学基礎論</a>	木集中
		健康・環境リスクをめぐる国際的な論議を跡 付けながら化学物質管理を付加価値の創造 に繋げる道を探る		13:00- 16:15

東京工業大学大学院や早稲田大学と東京農工大学との  
共同大学院で開講される科目を活用

12

## 関連講座

### 大学・大学院での講義を基にした 社会の多様な場における多彩な社会人教育

拠点	連携機関	科目名
		副題
鹿児島・鹿児島	社会技術革新学会 多様性基礎教育研究会	多様性論
		サウジアラビアにおける経験をもとに 社会の多様性を論じる
鹿児島・枕崎	化学生物総合管理学会 化学物質総合経営学 基礎教育研究会	規範科学論
		社会的規範と技術革新の関係を 論じる

13

## 今後の方針

2016年度以降に向け、  
お茶の水女子大学LWWC(増田研究室)の  
連携機関・開講機関機能を発展的に継承

1. 高度な教養教育 + 専門的知識の提供
2. 新規開拓と構造改革の孵化機能を高める
3. 自主的な活動としての基盤の確立

14